

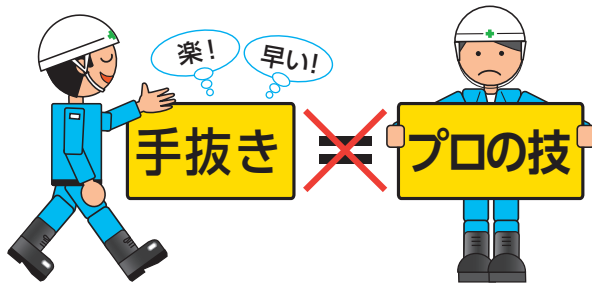


近道・省略は危険がいっぱい

近道・省略行動には、災害事故の引き金になります。ラクだからといって近道をするか、少し遠回りでも安全な手順を守るかは、ときとして命にも関わる“分かれ道”。決められたルールはしっかり守りましょう。



できればラクをしたい。人はみんな近道・省略が好きです。ちょっとでも少ない手間、短い時間で仕事を済ませることができると、なんだか得した気分になりますね。そんな手間ヒマの“節約精神”は、便利な道具や機械を生み出す原動力となってきました。しかし、ルールや手順が決まった作業での近道・省略行動は、一歩間違えると災害事故につながります。危険やミス回避する安全な作業手順は、大抵ステップが細かかったり複雑だったりして、面倒くさいし時間も掛かります。特に毎日繰り返している作業の場合、「このやり方のほうがラクで早いから」と手抜きを“プロの技”と勘違いしがちです。その油断こそ、危険の落とし穴。昨日まで起きなかったらといって、これからも起こらないとは限りません。そして、たった一回の事故が自分や仲間の生命に関わることもあるのです。現場のルールやマニュアルで定めた手順はみんなを危険から守るための「安全の道しるべ」でもあります。勝手な判断をせずにルールを守りましょう。



急いでいるときも要注意です。「危ないかな」と思いながらも「間に合わないと仲間に迷惑を掛けるし…」というプレッシャーからルール違反を犯してしまうことが少なくありません。もう一つは、ミスをしたとき。失敗を挽回しようとしていつものステップをつい飛ばしがちになります。慌てているときこそ「安全第一」！手順通りにきちんと仕事をしように心掛けましょう。作業に手間取っている仲間がいたら、急かさずに、お互いに手を貸し合うような職場の雰囲気づくりも大切です。

近道・省略行動を防ぐ！ 5つのポイント



①ルールやマニュアルはなるべくシンプルに

面倒を感じると、作業員はつい近道・省略行動に走りがちです。

②自分はそうなりやすいタイプか自覚を促そう

簡単なリストやテストを作って個々の特性をチェックし、近道・省略行動を取りやすいタイプかどうか自覚を促すようにしましょう。

③安全教育の方法や作業マニュアルは定期的に見直そう

マンネリは手抜きを誘発します。皆のヒヤリハット体験などを取り込んで、作業環境、安全運動の方法や作業マニュアルなどは定期的に改善しましょう。

④お互いに注意し合える関係と雰囲気をつくろう

近道・省略行動を見かけたら、ベテランや先輩に対しても気軽に注意できるよう、日頃からオープンな職場環境、人間関係を作るように心掛けましょう。

⑤リーダーがお手本になろう

上から目線で近道・省略行動を厳しく戒めるだけでは反発を招きかねません。職場や現場のトップが先頭に立ってルールや作業手順を実践しましょう。

今日のワンポイント

「近道・省略行動」 危険度チェック



あなたの職場は大丈夫？

個人の気持ちや油断だけでなく、職場の風土や作業環境も近道・省略行動を招く要因になっています。あなたの職場の危険をチェックして安全な職場づくりに取り組みましょう。

●チェックリスト

- 単調な作業の繰り返しや同じ通路の往復が多い。
- 道具や機材が遠い場所にある、決まったところに置いていない。
- 納期が厳しく、仕事を急かされることが多い。
- ちょっとしたミスはお互いに目をつむるようにしている。
- ベテラン社員と若手社員が言いたいことを言い合える雰囲気ではない。
- 安全マニュアル通りに仕事をしていると笑われる。
- 安全活動や安全教育が形だけでマンネリになっている。
- 職場は効率優先で、安全は後まわしだ。

- | | |
|----|---|
| 判定 | 0個 …… 現状のままのやり方でOK！ |
| | 1～3個 …… あと少し！チェックの付いた内容を中心に細やかに見直してみよう！ |
| | 4～6個 …… 注意が必要です。重大事故につながる前に早めの対策を！ |
| | 7個以上 …… 危険がすぐそこに！早急に見直しましょう！ |